

平成 26 年 7 月総務企画委員会 議事概要

H26. 8. 19 作成

H26. 8. 19 修正

日 時：平成 26 年 7 月 15 日（火） 18：00～20：00

会 場：建築士会 会議室

出席者：（担当副会長）長田 喜樹

（委員長）金子 修司 （副委員長）山成 芳直

（委員）加藤 清、加藤 高明、菊嶋 秀生、嵯峨野 雅彦、長谷川 行彦

欠席者：（委員）村島 正章、芝 京子、石井 明、永井 香織

事務局：須藤事務局長 豊島職員

会長挨拶 【資料 1】

花方会長より、今後予定している常任理事会および理事会にて会費値上げ議論を行うに当たり、直近の執行額および正会員数の推移について資料説明。

- ・事務局経費の削減について、今年度からは職員 1 名減。また倉庫は返却して賃借料は削減できたが、不用品の処分費が掛かった。事務局経費の削減も限界にきており、これ以上はできない。
- ・過日、総会や支部総会での挨拶では値上げのニュアンスは伝えた。賛成の意見もあるが一部では「会員数が減少する」と反対している方もいた。

【主な意見】

委員長）会員は活動費のシーリングにはやはり抵抗を感じるようだ。また、建築士試験の合格者も随分減っており、行政協力収入の減少に直接結びつくのが痛い。

担当副会長）連合会に対する負担金（会報誌代）のあり方を考える必要がある。

委員）仮に会費を 18,000 円に値上げすると単純計算で収入は 3,000 円×3,000 人=900 万円の増収だが、今のペースで減収が続けば 2～3 年で元に戻るため、退会者を減らす対策が必要。

委員長）総会が高齢の会員にとっては同窓会のような感じで良いが、若い会員にとっては馴染めない場となる。コミュニティアーキテクトとしての共通の位置づけが重要。

<確認事項>

1 前回(6/17)議事録の確認【資料 1】

○メールリストで事前送付済みであり、加除等があれば事務局に連絡いただくものとして承認された。

<協議事項>

1 会員懲戒規程について【資料3】

担当副会長より資料説明。条数の若干訂正を加えたうえで、第344回理事会へ諮ることとし、承認された。

2 役員選挙規程について【資料4】

担当副会長より資料説明。

【主な意見】

担当副会長) 理事の出身職域のバランスの観点から言えば、片寄りのある某県建築士会と比べ神奈川県会の現状はバランスが取れている。

委員) 理事の役割として、理事会等の全体を見る役割であればバランスは重要だと思うが、執行をする役割が主であれば、それに縛られる必要はない。また、選挙規程は定款と併せて整理した方がよい。

担当副会長) 問題点を整理し補完していきたい。なお来春の選挙に間に合うよう、秋以降の理事会に提案できるよう、当委員会での再議論をお願いします。

<報告事項>

1 会費未納者への対応について【資料5】

事務局より資料説明。

<その他>

1 賛助会イベントについて(追加資料:見学プログラム案および某技術研究所案内図)

担当委員より説明。

- ・某技術研究所は、2箇所に分かれているため、間違えて別会場へ行かれてしまわないよう注意必要。
- ・目玉の試験機は、当日稼働していれば動かしているところが見られる。
- ・チラシ案を作成しメーリング等で確認する。

2 次回委員会について

- ・平成26年9月16日(火)18:00~
(変更) ↓
・平成26年9月2日(火)18:00~

以上